

2023年度
新1年生の就学に関する
アンケート回答記述集

2023年5月

公益財団法人 日本ダウン症協会

今年小学二年生に進級されたお子さんの保護者の会員の皆さんにアンケート回答をお願いし、回答していただいた内容をそのまま掲載させていただきました。人は価値観や考え方、受け止め方がそれぞれ異なります。あくまでも個人の感想・意見としてお読みください。

当回答記述集のデータの無断転送及び他への転載は固くお断りします。

就学相談（小学校選択）を受けるにあたって

就学はお子さんが社会に向き合う第一歩です。就学先を決めるまでのプロセスの中には、親御さんの思い通りにはいかないこともあり、思い悩まれる時期もあろうかと思えます。

お子さん一人一人、性格や発達状態は異なります。また学校によって、生徒数、先生方の数・質、介助員の数・質、障害のある人に対する考え方も違います。今お読みいただいている親御さんご自身の価値観やそれに基づく進路要望もそれぞれ違うと思いますが、現在の価値観・進路要望に過剰に執着せず、学校、学級を実際に見学し、先生方と事前に十分なコミュニケーションを取ってください。このことはお子さんにとって最善の道を開いてくれる鍵になると思います。

この記述集は現在小学二年生のダウン症児の親御さんがかつて経験された多くの事実と思いが詰まっています。保護者の先輩方のご苦労を知る事もこれから就学されるお子さんを持つ保護者の皆さんには大いに参考になると思います。

記述集を読むと、就学を前に先輩保護者の皆さんが早い段階から周到に準備を進めて来られたことがわかります。その準備の中で特に重要なことは、繰り返しになりますが小学校の通常学級・特別支援学級、特別支援学校をそれぞれ実際に見学し事前に先生方とコミュニケーションをとることです。見学は2回以上をお勧めしますが、お子さんも同行できればお子さんの成長も感じられます。

そして就学相談前には、お子さんにどういう環境で、どういう教育を受けさせたいのか、保護者間で相談した上で臨んでいただくことが重要だと思えます。ただ実際に通うのはお子さんです。通学方法の考慮は重要な問題ですし、また実際に学校の雰囲気をお子さんがどう感じたのかコミュニケーションを図り、「ここならお子さんの居場所が作れるだろう、ここなら発達が見込めるだろう」と家族で合意した上で就学相談に臨んでください。

記述集より保護者の皆さんへのアドバイスを以下に抜粋します。（本編では23頁以降）

- 就学相談よりも、学校との面談が大変でした。トータルで3回、入学前に面談がありました。はっきりとした受け入れ拒否は無かったですが、特別支援学校を勧められたりして、入学したいという意志を貫き通すには心のタフさが必要な気がします。そのためにも、身近な先輩パパママ(同じように通常級に通うダウン症のある子を持つ親御さん)を見つけ、相談に乗ってもらおうと良いと思います。（通常学級保護者）
- 言いたい事の1番は本人のレベルに合った学校学級を選ばれることだと思います。親の見栄や希望で子よりも高いレベルを選ばれる方を何人も見てきていますが後悔の話をよく聞きます。その子に合った学校学級を選んであげられる事によって大きくなった時に得られた事も沢山大きく成長しています。高いレベルを選んでしまうと吸収することが難しく得られることも少なくなってしまいます。（特別支援学級保護者より抜粋）
- 就学についてはダウン症のお子さんを持つご両親にとっては最初の主張が通らない（歩み寄ってもらえない）話し合いかと思えます。傷つくこともあると思います。どうぞ覚悟して臨むとともに親としてどうしたいのかきちんと伝え、お子さんにとって最適な学校に進学できますようがんばって欲しいと思います。（特別支援学級保護者）
- 学校によって、支援の手厚さや考え方も様々です。実際に通っているお子さんが居る親御さんから話を聞いてみたり、学校に問い合わせてみたり、情報収集はとても大切だと感じました。実際に見学や体験ができるなら子供を連れて積極的に参加して、来年春から子供がこの学校に通っている姿をイメージして見て下さい。納得できない事があれば一人で抱え込まず、JDSのメンバーや、いろんな人に話して悩みもシェアしてください。きっと同じような体験や想いをした仲間が見つかると思います。（特別支援学校保護者）
- 支援学校高等部を卒業しても高卒資格はありません。子の能力を幼い時に決めつけてしまうのも問題ですが「自立に向けた7歳から訓練を受けている」と考えれば12年の支援学校は子の人生において充実した学び経験の場です。卒業後自信をもって自立した生活仕事をして欲しい、そう願いながら送り出しています。（特別支援学校保護者）

2023年5月

就学アンケート担当理事 齊藤明子

目次

アンケート基本情報	5
○お子さんの性別.....	5
○地域別回答数	5
お子さんが在籍している学校・学級について	6
○お子さんはどちらに通われていますか	6
○お子さんのクラスの人数はそれぞれ何人ですか	6
学校の選択について	7
【1】希望した学校は、何を重視して選びましたか	7
【2】就学相談に参加されましたか.....	8
【3】就学相談でどのようなことを相談されましたか	8
【4】希望通りに就学できましたか.....	11
入学当時の様子	14
【1】入学にあたり学校や教育委員会から何か条件がありましたか.....	14
【2】入学当時のお子さんの身辺自立はどうでしたか	15
学校生活について.....	16
【1】在籍している学校の教育環境に満足していますか.....	16
【2】通常学級との交流はどの程度ありますか	19
【3】登下校・放課後について.....	20
○登校はどのようにしていますか	20
○下校はどのようにしていますか	20
○放課後はどのように過ごしていますか	20
その他.....	21
【1】PTAの役員などはどうされていますか	21
【2】2年生で在籍する学級、学校に変更はありますか	23
【3】その他、就学に関するアドバイスがありましたらお願いします	24
【4】合併症のある方はお聞かせください.....	28

※当アンケート調査は、

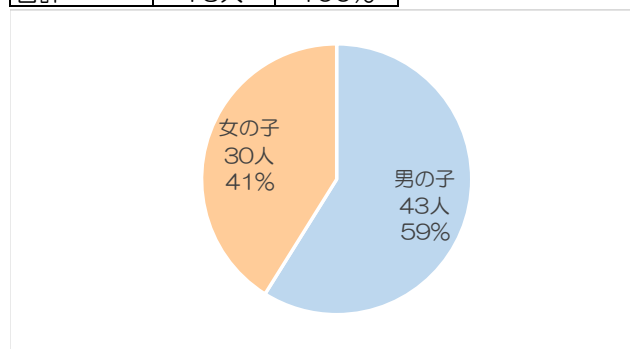
- 保護者 126 人に回答を依頼し、対応いただいた 73 人の回答を集計・分析したものです。(回答率：57.9%)
- 設問ごとに回答を全体(73人)を母数にして、あるいは「通常学級／特別支援学級／特別支援学校」それぞれを母数にして分析しています。
- 自由記述回答については、回答いただいた記述内容は基本的にこちらで認識した主旨ごとに分類し掲載しています。また基本的にはいただいた回答を原文のまま掲載していますが、明らかな誤字や文意の理解が難しい表現は一部修正しています。
- 構成比を表示している表の各項目を合計しても、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

第29回小学校1年生（2022年4月入学生）の 就学に関するアンケート 回答・記述集

アンケート基本情報

○お子さんの性別

男の子	43人	59%
女の子	30人	41%
合計	73人	100%

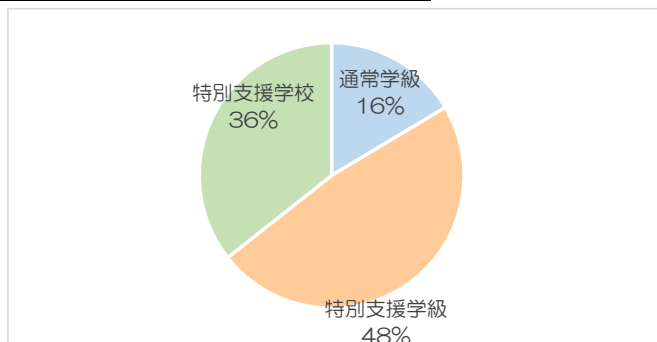


○地域別回答数

地域	回答数	地域	回答数
北海道	0人	三重県	0人
青森県	2人	滋賀県	0人
岩手県	0人	京都府	0人
宮城県	2人	大阪府	3人
秋田県	0人	兵庫県	3人
山形県	0人	奈良県	6人
福島県	3人	和歌山県	0人
東北地方	7人	近畿地方	12人
茨城県	0人	鳥取県	0人
栃木県	6人	島根県	0人
群馬県	1人	岡山県	2人
埼玉県	6人	広島県	2人
千葉県	2人	山口県	0人
東京都	14人	中国地方	4人
神奈川県	5人	徳島県	1人
関東地方	34人	香川県	0人
新潟県	1人	愛媛県	2人
富山県	1人	高知県	1人
石川県	0人	四国地方	4人
福井県	0人	福岡県	0人
山梨県	2人	佐賀県	1人
長野県	3人	長崎県	1人
岐阜県	0人	熊本県	1人
静岡県	1人	大分県	0人
愛知県	1人	宮崎県	0人
中部地方	9人	鹿児島県	0人
		沖縄県	0人
		九州・沖縄地方	3人
合計	73人	合計	73人

お子さんが在籍している学校・学級について
 ○お子さんはどちらに通われていますか

学級・学校	人数	構成比
通常学級	12人	16%
特別支援学級	35人	48%
特別支援学校	26人	36%
合計	73人	100%



○お子さんのクラスの人数は何人ですか（下表：平均値）

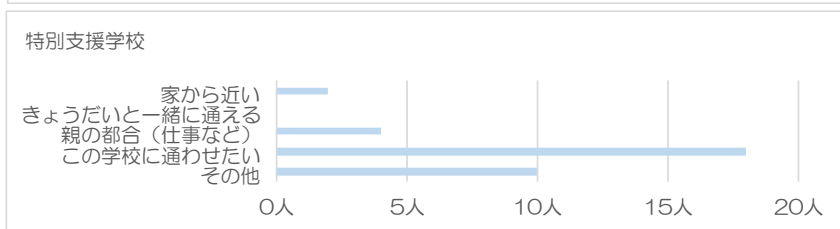
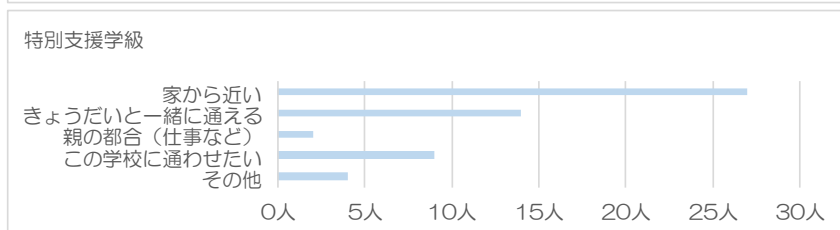
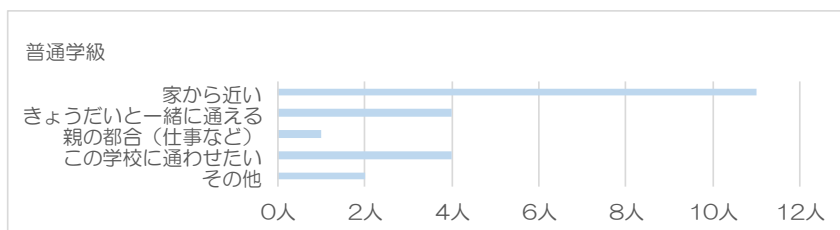
	クラスの人数	担任の人数	介助員・補助員 などの人数
通常学級	29.7人	設問なし	1.0人
特別支援学級	5.9人	1.3人	1.2人
特別支援学校	5.3人	2.0人	1.0人

学校の選択について

【1】希望した学校は、何を重視して選びましたか

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計
家から近い	11人	27人	2人	40人
きょうだいと一緒に通える	4人	14人	0人	18人
親の都合（仕事など）	1人	2人	4人	7人
この学校に通わせたい	4人	9人	18人	31人
その他	2人	4人	10人	16人
回答合計	22人	56人	34人	112人
回答者数	12人	35人	26人	73人

※複数回答設問



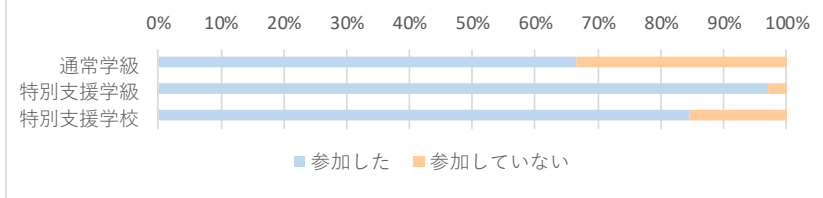
□上表「その他」自由記入欄の記述内容

通常学級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のお友達が多く行くこと ・ 健常児との関わりが多いこと
特別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子どもの存在を知ってもらうため ・ 分離教育に反対のため ・ 学区の小学校は情緒のクラスしかなく、知的支援学級では家から一番近かったため ・ 健常児と共に生活したかった ・ たくさんの友だちと関わらせたい
特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の成長度 ・ 入学時点で歩行困難だったため ・ 下の子（園児）がいるので毎日の送迎に負担がかからないか ・ 支援級の校長が、支援校判定が出ているのに支援級に通うことに良い印象を持っていないと感じた ・ 本人の能力（成長）に合わせて ・ 知的に普通学級は難しいと思いましたが特別支援学級は人数も少なく寂しいイメージもあったので特別支援学校を見学して決

	めました。 ・ 子供が楽しく過ごせること
--	-------------------------

【2】 就学相談に参加されましたか

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
参加した	8人	34人	22人	64人	88%
参加していない	4人	1人	4人	9人	12%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



【3】 就学相談でどのようなことを相談されましたか

□自由記述

通常学級

分類	相談内容
進路要望	<ul style="list-style-type: none"> 何かを相談するのではなく、学区の小学校に通わせたいという希望を伝えました。
学級・学校の違い	<ul style="list-style-type: none"> 通常級に通わせたいが、支援学級と悩んでいること。支援級は行動観察に参加しなければならないので一応受けました。結果は支援学校適の判定が出てしまい、通常級に決まるまで大変でした。最終的に親の判断で決めることができました。
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> どのような対応をしてもらえるか 就学先の事では参加しませんでした。医療的ケア（導尿）が必要なため就学相談係とは連絡を取り、対応していただいています。 必要なサポートについて
その他	<ul style="list-style-type: none"> 学区の小学校（普通級のみ）に入学したいが、支援員は付けられるかどうか。 支援学校、支援学級をこの先希望する可能性もあるので体験入学したい（→両方とも各一日の体験入学）。 就学相談担当者から「就学相談は、特別支援学級、特別支援学校を考えている人のための相談の場なので、通常学級を考えている場合はそのまま希望を出して下さい」というようなことを言われたので、特に相談はしていません。 学校の特色

特別支援学級

分類	相談内容
本人の適性	<ul style="list-style-type: none"> 支援学校と支援学級ではどちらが成長できるか？

	<ul style="list-style-type: none"> ・担当保育士に同席いただき、今出来る事、出来ていない事を伝えて、支援学級でもやっていけそうかを確認した ・子どもにあった学校選び ・子供にとって無理のない学校生活を送らせるためには、どこに通うのが合っているのか ・どの学校に行くのが本児にとって幸せか ・本人の性格、配慮事項、親の願い ・地域の学校に通って本人はやって行けるのか？
進路要望	<ul style="list-style-type: none"> ・就学相談には毎回、両親そろって参加し、学区の小学校に特別支援学級がなかったので、新規開設を要望しました。 ・判定は特別支援学校でしたが、地域の子どもたちと一緒に過ごしてほしいと思っていたので、希望通り地域の小学校へ就学することが決まりました。” ・通常の流れの手続きで、特別支援学級希望と伝え続けた。 ・自宅から徒歩で通える小学校に通わせたい。特別支援学級の在籍が良い。 ・年中の秋に教育委員会の方と面談をした際には【生まれてからずっと地域の支援学級へ就学させたいと思ってリハビリ・療育に取り組んでいる。トイレトレーニングも2歳から始め、現時点では完了している。入学した場合にどのような時に支援が必要か】を話した ・雰囲気的に支援学校判定だろうと感じたので相談というか私の思いを伝えました。①きょうだと一緒に通わせたい。②先生の言っていることが理解できなくても周囲のお友達を見て真似をするのですぐ手伝わず待ってもらいたい。③判定がどうであれまずは地域の学校に通わせたい。1年通って難しそう（本人的にも）なら判定に従いますと伝えました。
判定	<ul style="list-style-type: none"> ・相談したというより判断された感じです
学級・学校の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、進路先を支援学校(国立、都立)と区立の支援学級2校で悩んでいたのですが、専門分野の先生に客観的な意見を頂き、本人の状況や親の希望と照らし合わせて一緒に考えたいと伝えました。都立支援学校と、区立支援学級2校と、通っていた区立児童発達支援センター、教育委員会の5カ所で判定し、意見が分かれたようですが総合的に支援学校判定になりました。最終的に、家から通うことで近隣の土地感覚をつかみ自主性を養えること、しっかり歩くことや通常級との交流で心身共に成長が望めることを理由とし、一番家から近い区立支援学級1校を希望しました。その後、学校長、教育委員会との面談で合意形成となりました。 ・相談員の方が親身になって相談にのって下さり、しっかり内容も伝えて頂き、保護者として満足のできる結果でした。 ・支援級に入れるのか。支援級でやっていけそうか。途中で(クラスを)変わる子は割りといけるのか、そもそも(クラスを)変われるのか。 ・本人がどの程度の知能、どれくらい何が出来ることによってどの学校学級が相応しいか。簡単にまず始めは通常学級、特別支援学級、特別支援学校のどこに適しているかを相談した。 ・自分の子供が支援学級でやっていけるのかどうか
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の受入体制、現在の子どもの状況で在籍できるかどうかなど ・制度や情報など教えてもらった ・まだトイトレ中で入れるかどうか ・普段の生活の様子を伝え、普通の子よりはできることが少なかった

	<p>りゆっくりであることを伝え、補助がどのくらいつくのか相談した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前年の夏に発達検査を受けに行き、支援級では入学後の補助は（クラス移動等）どれくらいつくのか、通常級との交流はどれくらいあるのか、等を小学校見学时に相談しました。支援学校はコロナ禍ということもあり、個人での見学、見学日（支援学校指定日）での授業見学はできずビデオでの説明等のみでしたので直接相談する機会がありませんでした。 ・ 地域の学校の支援学級に通わせたいが、運動制限があるので先生や支援員が注意してくれるか ・ 市の判定では支援学校との判定だったが地域の小学校の支援学級で受け入れて頂けるのか
学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流級での過ごし方、支援方法についてなど ・ 給食の形態変更希望
身辺自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域でも通えるかと支援のこと（ご飯の切り分け等）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 兄と一緒に通えるか。入学までに何ができるようになれば良いか。 ・ 案内が来たので行かなければならないと思い行きましたが、行く必要はありませんでした。 ・ できる限り自分の力で何でもできる様になって欲しい。

特別支援学校

分類	相談内容
本人の適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通うとすれば重複障害学級になるのか ・ 本人にとってどの学校に在籍することが良いか ・ ①トイレ問題 ②学習内容 ③我が子に合っているか ・ 通常学級と特別支援学校のどちらが子供にとって適しているか ・ 子が自立に向けのびのびと学べる学校について
進路要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の学校に通いたい
判定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活や社会性を重視して見て欲しい
学級・学校の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援級、支援学校それぞれの特徴や通っている児童の様子を伺った ・ 支援学級と、特別支援学校で迷っていたので、自分の子供が、どちらがよりよいか相談した。 ・ （当時はまだ迷っていたが）支援学級希望と相談。支援級か支援校かの判定（提案）を知りたかった。 ・ 支援級、支援学校どちらも良い部分があり決めかねていること。しかし本人の現在の発達を見て話をしてくれるのではなく手元にある書類だけを見て話が進んでいくのが何のための相談だろうと不満でした。 ・ 支援級と支援学校で悩んでいること
受入体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校によってどのような受け入れ体制か。本人の様子はどうか。 ・ どういう支援内容か／通学方法等
学校生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全面、授業についていけるか
身辺自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ咀嚼が出来ず、普通食を食べられないことや話す事が出来ずコミュニケーションが取れない等

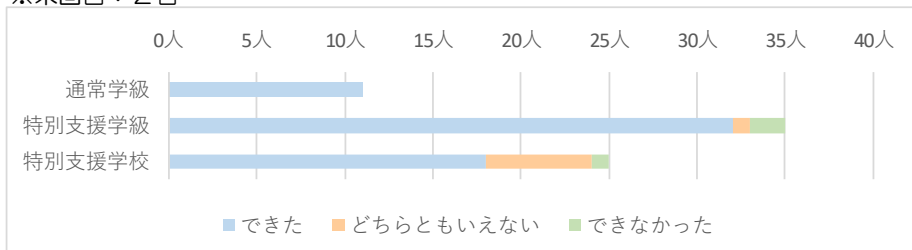
	・ 日常生活、運動機能、情緒、コミュニケーションについて
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合併症が複数あるので、その対応について ・ 就学に合わせて転居した。転居前だったが、就学先の自治体の就学相談に参加、一からいろいろな情報を教えてもらった。 ・ 発達検査と観察からこの子と同じ程度の発達のお子さんは支援学級と支援学校のどちらに就学することが多く、また途中で変わることがどの程度あるか聞いた。 ・ 特に相談はしていない。判定のための必要なら手続きを踏んだだけ。

【4】希望通りに就学できましたか

□自由記述

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
できた	11人	32人	18人	61人	86%
どちらともいえない	0人	1人	6人	7人	10%
できなかった	0人	2人	1人	3人	4%
合計	11人	35人	25人	71人	100%

※未回答：2名



通常学級

1. できた

分類	内容（結果に至った理由など）
希望尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通っていた保育園の近く、3校を見て決めた。決めた学校の校区に引っ越した。 ・ 希望通り就学できましたが、入学するのに条件を言われました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普通級に入りたかったので就学相談を受けず直接学校に連絡を取り、難しい顔をされつつも入りました。

特別支援学級

1. できた

分類	内容（結果に至った理由など）
判定が希望と不一致だったが希望どおり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校判定と言われましたが（支援学級に入学） ・ 結果的には希望の支援学級に就学できましたが、教育相談の結果（←特別支援学校判定）を告げられた地域の（後に通う）小学校の特別支援学校コーディネーターの先生から「特別支援学校は手厚い指導が受けられますから」としつこく言われイラッとしました。 ・ 支援学級希望だったが、教育委員会から支援学校が適当との判定があった。その後電話で支援学級に通いたい理由（地域の中で育てたい。小さいうちから障害児だけで（健常児とは分離）させたくない）を話したところ、思ったよりは簡単に支援学級で良いですよと言っ

	てもらえた。
判定が希望と不一致で判定に従った	・ IQ が 50 以上あるので支援学校は難しい（中・重度の子が優先される）。IQ が 50 台で通常級は本人がしんどいかもしいれない。本人や保護者の希望が強くなければ支援級が適切な環境だと思われる。
希望どおり	・ 学区の学校見学と希望していた学校へも見学に行き、希望の学校へ通う為引越しました。 ・ 対応が難しいと言われることはなかった。 ・ 希望していた学校に就学できたから。
独自に選択	・ 結局地域の小学校にも養護学校にも行かず教育大付属小の特別支援学級にご縁があり入れました。
その他	・ 地域の支援学級一択だったけど、就学前に学校側からも保育園からも支援学校をすすめられた。結果、大学付属支援学校に受験し不合格となり、第一希望の支援級に行けたのでヨカッタ。 ・ 地域で当たり前の存在として育ててほしかったから。

2. どちらともいえない

分類	内容（結果に至った理由など）
独自に選択	・ 通知決定が支援学校で校長先生と意見が合わなく、市役所の就学課に相談したらスムーズに進んだ。

3. できなかった

分類	内容（結果に至った理由など）
判定が希望と不一致だったが希望どおり	・ 判定では特別支援学校が適していると言われたが、自宅からとても遠くバス通であったためそこへは通えないと拒否した。自宅近くの小学校ではなく、拠点校という特別支援の環境がさらに整っている小学校へ車で送迎することになった。
判定が希望と不一致で判定に従った	・ 行きたかった学校には主任と校長にブロックされました

特別支援学校

1. できた

分類	内容（結果に至った理由など）
判定と希望が一致した	・ 支援学校の判定（提案）が出て、家庭としても支援学校を希望したから。
独自に選択	・ 申込多数あり、審査に通った。
受験合格で進学	・ 受験に合格できたため ・ 手厚い支援を希望したので私立の支援学校を受験し入学できた。

2. どちらともいえない

分類	内容（結果に至った理由など）
判定が希望と不一致で判定に従った	・地域の小学校の支援学級では受け入れが難しく、特別支援学校を選択したため。今は支援学校で良かったと思っている。
独自に選択	・どこが本人にとって良いか悩んだが、現在の学校の体制をみて、妥当点で選択しました。
その他	・何を選んでも本人の希望がわからない ・市教委とDrの判断にお任せしました。

3. できなかった

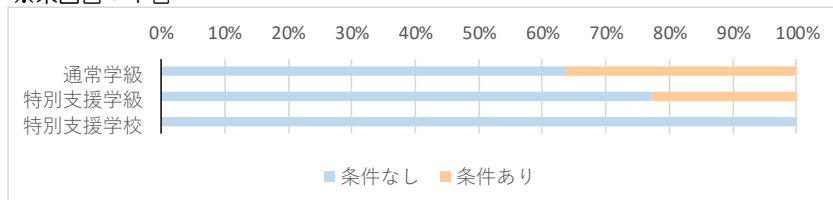
分類	内容（結果に至った理由など）
判定が希望と不一致で判定に従った	・支援校判定で、学校との交渉も平行線だった

入学当時の様子

【1】入学にあたり学校や教育委員会から何か条件がありましたか

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
条件なし	7人	27人	26人	60人	83%
条件あり	4人	8人	0人	12人	17%
合計	11人	35人	26人	72人	100%

※未回答：1名



□自由記述

通常学級

分類	内容（具体的な条件など）
付添い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校の付き添い ・ 遠足などの際はできるだけ付き添いをするように言われました。（結果、遠足の付き添いはしていませんが） ・ 登下校の付き添い ・ 親が毎日付き添うことです。2学期から介助員は付きましたが、今も週2回親が付き添っています。 ・ 入学前には何も条件を言われませんでしたが入学後に付き添いを求められました。→お断りしました。
介助補助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人に対しての補助はつかない

特別支援学級

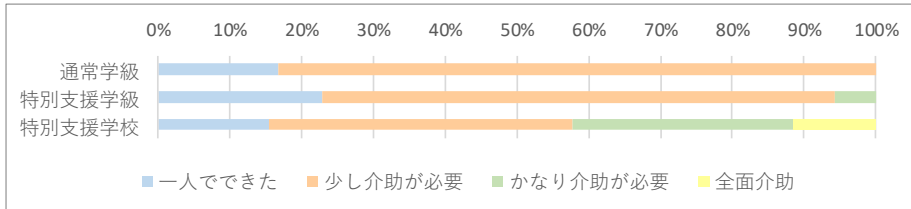
分類	内容（具体的な条件など）
クラス替え	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親の協力と年度には進路の検討をすること ・ 教育委員会の方（相談員ではなく当日初めてお会いした方）が、支援学校判定で支援学級に入るので、何かあれば支援学校に転校して下さい、毎年適正か話し合ってください、と言われました。学校からは特になく、問題が生じたら一緒に考えていきましょうと言われました。
付添い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校外学習等の時は親の付添が必要かもしれないと入学前に言われましたが、入学後は特に求められませんでした。 ・ 授業全てに付き添うこと→現在は朝の準備まで付き添い ・ 送迎は基本的に親がすること ・ 登下校には必ず保護者が付き添う
身辺自立	<ul style="list-style-type: none"> ・ (市の)相談の方は、身辺自立（トイレなど）が必要と言われましたが、学校での説明は、オムツの子も居るのであまり気にしなくてもよいと言われました。（うちの学校だけみたいですが周りの学校は厳しい。）

特別支援学校

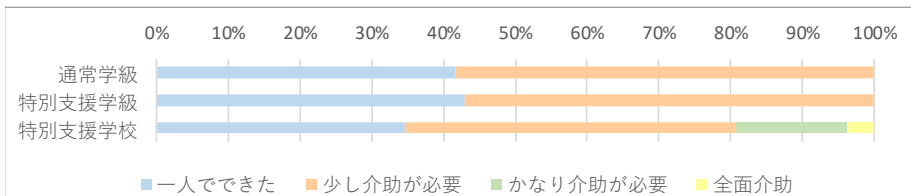
・なし。

【2】入学当時のお子さんの身辺自立はどうか

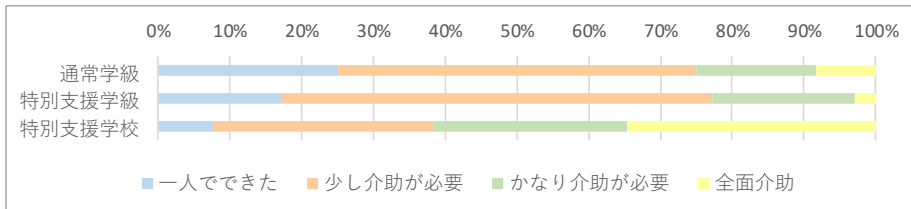
□衣服の着脱	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
一人で行えた	2人	8人	4人	14人	19%
少し介助が必要	10人	25人	11人	46人	63%
かなり介助が必要	0人	2人	8人	10人	14%
全面介助	0人	0人	3人	3人	4%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



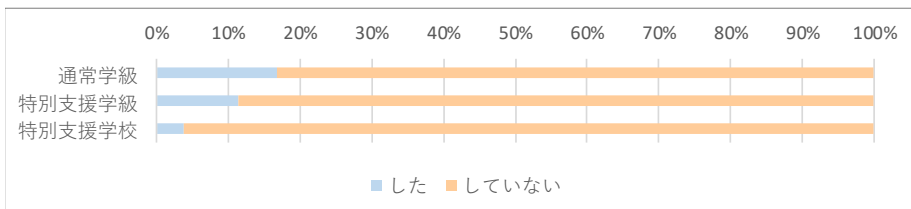
□食事	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
一人で行えた	5人	15人	9人	29人	40%
少し介助が必要	7人	20人	12人	39人	53%
かなり介助が必要	0人	0人	4人	4人	5%
全面介助	0人	0人	1人	1人	1%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



一人でできた	5人	15人	9人	29人	40%
少し介助が必要	6人	21人	8人	35人	48%
かなり介助が必要	2人	7人	7人	16人	22%
全面介助	1人	1人	9人	11人	15%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



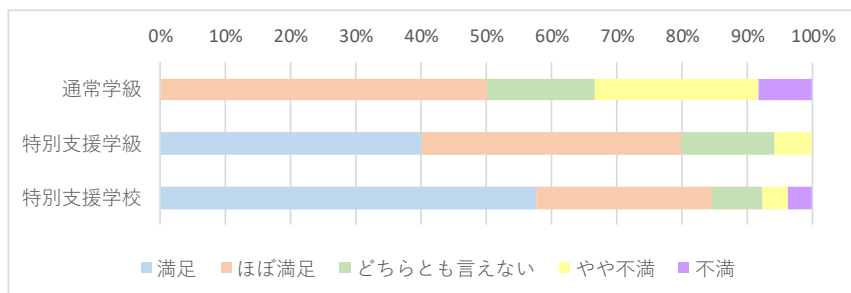
□和式トイレでの練習	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
した	2人	4人	1人	7人	10%
していない	10人	31人	25人	66人	90%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



学校生活について

【1】在籍している学校の教育環境に満足していますか

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
満足	0人	14人	15人	29人	40%
ほぼ満足	6人	14人	7人	27人	37%
どちらとも言えない	2人	5人	2人	9人	12%
やや不満	3人	2人	1人	6人	8%
不満	1人	0人	1人	2人	3%
合計	12人	35人	26人	73人	100%



□自由記述

通常学級

2. ほぼ満足

- 周囲のお友達も助けてくれ、担任の先生がそのような空気をやんわり作ってくれているから
- 支援員（たまにいない日もある）をつけてもらい、授業が難しい時も本人が参加できるよう手伝っていただいている。
- 子供が楽しく通っているから
- 1年生の担任の先生は彼女の特性を受け入れてくれました。そのおかげか同じクラスのお友達との関わり合いもうまく築けた気がします。毎年、担任が変わるので今後はどうなるかわかりませんが話し合いながら進めていけたらと思います。
- 学校現場は最大限努力して一緒にやるサポートをしてくれているが、市教委に必要な合理的配慮として個別の介助者を要望するも却下されたため
- 子どものペースで進めている。テストで答案に回答できなくても名前が書ければ〇や100点などを付け、学校側が自己肯定感を下げないよう工夫をしている。決して放置されていない。

3. どちらとも言えない

- 本人はどこまでわかっているのか不明ですが、そして実際学習に全然ついていかれてる様子もないですが、楽しく帰ってきているので、満足ではあります。しかし個別の対応がどの程度されて居るのかも不明なので
- インクルーシブ教育でない為

4. やや不満

- 今年度の担任の先生は支援学級やサポートルームの経験があり、息子に合わせて声掛けや工夫を考えてくれたから。また息子専任ではないけれど、支援員の先生もいて、サポートしてくれたから。
- 介助員は基本見守りです。ですが、知的障害に見守りだけでは本人が何をしたいのかわかりません。少しの援助をしてもらえば、できることがたくさんあると思います。そこを少し考えてもらえたらなと思います。
- 本人は学校が大好きで楽しいようですし、補助の先生も可能な限り付けて頂いています。ただ本人の能力に合った学習は提供されていません。

5. 不満

- 支援学級がない

特別支援学級

1. 満足

- 子供の能力とやる気に合わせて学習を進めてくれ、居心地の良い学級作りをしてくれる。
- 楽しそうに過ごしているから
- 本人の学力、認知状況、身体状況に合わせて教え方や課題を工夫して下さり、スモールステップで確実に成長できています。必要な身体、生活面の配慮も受けられています。親の希望と本人の状況を担任と相談しながら、交流学級に十分参加できています。
- 本人が楽しく過ごしているので
- 見学した時よりも、通って中身を体験して、さらに良い！支援がとても行き届いている。健常の子供たちとの交流も多く、先生たちが健常の子供達へ障害を持った子供達への接し方、こんなときどう接したら良いかなどをしっかりと教えてくれているので健常児と障害児も仲が良い！
- 入学して 1 ヶ月ほど経った時に校長先生から全校児童に向けて娘のことを話していただいた。【ダウン症という特徴を持って生まれてきた。ダウン症を持ってる〇〇ちゃん是他の一年生のお友達みたいに行動するまで時間がかかる。もし〇〇ちゃんが困っていそうだなあと思ったら手伝ってあげて。〇〇ちゃんはリハビリへ行ったりしてトレーニングを頑張ってる。〇〇ちゃん以外にも困ってそうな子がいたら助けてあげられるような人になって欲しいです】などと話をさせていただきました。それからずっと沢山の児童が面倒をみたり遊んでくれています。この校長の話のあとに全学級 12 クラスへ【あいちゃんのひみつ】を私達夫婦から『学級文庫として買ったので読んでください』と寄贈しました。

- 子どもの気持ちに寄り添って対応してくれている。学校全体で子どもに関わってくれているのが伝わってくる。
- 先生がとても丁寧で理解がある療育をやってくれる（その子に合った学習方法）。支援級が（ダウン症児が 17 人中 5 人）充実していて、みんなで楽しく過ごす工夫をしてくれる。ハロウィンやクリスマスの仮装行列や毎日校長室を訪問して演奏会など。
- 先生、生徒ともに、子に対して大変好意的に接してくださるため。1 年生の 2 学期が特にトイレの面で迷惑をかけることが多かったが、学校・家庭ともに頑張りましょうと前向きに向き合ってくくださったため。

2. ほぼ満足

- 担任の先生がしっかり勉強して対応してくれている。ただやはり、支援員がいても目が行き届いていない時もある。
- 先生との相性
- クラスメイトから刺激を受け、大切にしてもらえる安心感からよく話すようになった。
- ひらがなの読み書きができるようになってきたため
- 勉強はあまりしていないのが、少し不満。遊んだりする時間が多い。”
- 何かあれば担任に相談できるから
- 今のところほぼ満足ですが、支援員さん不足が学校の不安のもとになっている→それが親への負担となる
- 先生方は娘の特性に合わせて支援くださっておりとても満足しています。ただ、通常学級との交流の時間をできるだけ取ってほしいと要望しているものの、まだ少ないと感じます。通常学級と特別支援学級に分離するのではなく、通常学級に在席しながら支援を受けられることが理想です。”
- 交流がもう少し多くあってどちらのクラスにもなじめると良いなと思うから。
- 交流級にしっかりと行けている（クラスの一員として認識されている）。本人のレベルに合わせて、学習内容を上げてくれている。本人が楽しく通っている。いろいろな配慮してくれている、的なことを言われました。
- 細やかに対応して下さる先生もいらっしゃる。
- 入学前までは全くウエルカムではなくて、支援学校には支援のプロがいるからそちらに行

った方が、と散々言われてたのに入学したら関わる先生はみんな支援のプロ並みに子どものことを見てアセスメントして下さっている。

- 学習中は本人に対する見守りやサポートが必ずあったから。昼休みの見守りが無い時があり、昼休み後一人でいることがあったから、
- 科目により普通学級との交流もあるし、本人も楽しそう。成長も感じられる。

3. どちらとも言えない

- 在籍中に校舎の建て替え工事があるため
- 子供の特性をしっかりと理解いただけておらず、子供達が不安定なため毎日大変
- 我が子に合った宿題を出されていない。その日の様子がよくわからない。先生にこうしてほしいと言っても何も変わらない。よく支援担当が休む（他の支援の先生はきちんと様子を伝えてくれます）
- 支援学級の担任の方針かどうかわかりませんが…、2学期末の懇談会で「1年生の教育課程を一通り最後まで学習しましょうか？」と聞かれました。ひらがなも足し算もまともにできないのにどうしてこの質問を？と理解できなかった。私は「無理に学習しなくても大丈夫です」と伝えました。一応確認だったのかもしれませんが。
- 年度途中で先生が産休に入られたため担任が変わりました。かわられた直後は授業内容も後退したり先生方の引継ぎがうまくできていなかったのか事あるごとに「一学期の様子がわからないのですが、、、」と言われました。また子供に対しデリカシーのない言葉が言われたり、行動をされることがありました。そのたびに子供も「学校行かない」と言うこともあり親としては心配な一年でした。

4. やや不満

- 視覚支援（イラスト、写真など）をお願いしたが、漢字にふりがなのみの文字主体の教室環境を改善する気がない。担任に「難しい」と言われた。（難しくないはずなのですが、、、）
- 支援員の先生がもう少しいてもいいかな？と思うところやよく聞く話ですけど、学校でも違うし、先生によっても違うし、統一したものがあるといいのになと思います。

特別支援学校

1. 満足

- 担任の先生 2 人もよく見てくれているし、担任ではない先生もよく声をかけてみってくれる
- 入学当初 10 歩～20 歩程度しか歩けなかったが、学校での環境や先生方のサポートのお陰で積極的に歩くようになり、今では校内をあちこち歩けるまでに成長した。毎日嫌がることなく、楽しく学校へ登校していることが何より、安心できるので親としては充分満足している。
- 個々への配慮が行き届いている。要望を伝えやすい
- 子供に合わせた授業内容になっている
- 子供が楽しそうに通っている。親と先生とでしっかりコミュニケーションが取れる。
- 1 年生 3 人、2 年生 3 人の複式学級で先生も 3 人居てとても手厚い。根気よく指導して下さる。
- 少数で手厚いので、子供一人ひとりの特性をよく把握して必要な支援をしてくれる。我が子は身体的な発達ダウン症の子の中でもゆっくりとよく転んだりもするがその辺りも良く見ていてくれるので安心。
- 苦手を頑張らせるのではなく「好きなこと」を伸ばしてくれる環境であること。子供のことをたくさん知ろうとくださる先生たち、どんな些細なことも相談できるアットホームな雰囲気なので親も安心して頼っています。
- 本人が楽しく通っているから
- きめ細かい対応をしてくださる
- 毎日楽しく通学しています。親も心配なく学校に送り出せています。• 連絡帳で子供の様

子が把握できています。

- ・担任が「障害名でなく本人の困り所を計画的に支援してゆく」という言葉に感動しました。まさにその通りオーダーメイドの教育を受けているという感じ。
- ・クラス担任の先生方もとても理解があり優しくしてくださり学校での様子もとても丁寧に教えていただいて本当に感謝しています。本人も楽しく学校に通っており満足しています。
- ・トイレも近く、先生もほぼ1対1でついてくれるので、目が行き届いていて安心でき、その子に合わせてみてくれる。
- ・子供の発達に合った手厚いサポートがあるため

2. ほぼ満足

- ・ほぼ良いがもっと進んでもよい。
- ・本人のレベルに合った授業で本人の学力も伸びているから。
- ・新しい学校なのでキレイ。先生方が優しい。
- ・遠いことを除けば満足

4. やや不満

- ・タイミングが合えばトイレで排泄できるが日に一度くらいしかトイレに連れていってもらえない。歩行ができるがマットが敷かれた教室のため上履きを履いた生活をさせてもらえない。など

【2】通常学級との交流はどの程度ありますか

特別支援学級

(複数回答)			(複数回答)		
時間	人数	比率	時間	人数	比率
音楽	25人	71%	運動会	34人	97%
図工	20人	57%	遠足	29人	83%
体育	24人	69%	発表会	28人	80%
給食	12人	34%	回答者数	35人	100%
朝礼	7人	20%			
朝の会、帰りの会	12人	34%			
回答者数	35人	100%			

特別支援学校

普通学校との交流回数は、

回答選択肢	回答人数	交流があるのは具体的にどんな行事か？など
月に何回か	1人	・ イベントで交流。給食を食べるなど
年に何回か	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業参加（午前中） ・ 学期ごとに1回交流があり、実際に交流校にお邪魔して自己紹介後、お魚つりのゲーム、輪投げ、ボーリングなどを楽しんだ。3学期はお手紙のやりとりの交流となった” ・ 参加してないので詳しい事は分からない ・ 手紙交換などがあるそうです ・ 参加したことはない ・ 2～3時間程一緒にの授業を受ける ・ 地域交流 ・ 展覧会、お店屋さんごっこ ・ 2回/年。支援学校（1年生全員）での（となりの学校と

		<p>の) 交流会で一緒に手遊びやプレゼント交換、歌、サーキットなどをやりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットにて近所の学校と繋がりお話（コロナの為） ・地域学校のお友達のところに訪問したりしていると思います。 ・音楽会、芋掘り ・学級活動の時間に、自己紹介やゲームなどを行った
したことはある	2人	<ul style="list-style-type: none"> ・一緒に遊ぶ（近隣の小2児童と） 今年1回のみ ・近隣の高校生ボランティアと遊んだ。コロナ前は近隣の小学校との交流が数日あった。
全くない	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・希望すれば年1回ある（地域交流で地元の学校1日体験） ・昨年はコロナの影響で中止になった。

【3】登下校・放課後について

○登校はどのようにしていますか

(複数回答)

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
保護者と	11人	34人	11人
きょうだいと	2人	2人	0人
集団登校で	1人	4人	0人
ひとりで	0人	1人	0人
学校のバスで	0人	0人	16人
その他	0人	0人	0人

○下校はどのようにしていますか

(複数回答)

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
保護者と	10人	17人	4人
きょうだいと	1人	0人	0人
友達と	0人	0人	0人
ひとりで	1人	0人	0人
学校のバスで	0人	0人	10人
放課後デイサービスを利用	3人	27人	23人
その他	1人	5人	0人

※「その他」事例

通常学級：移動支援

特別支援学級：学童のお迎え、移動支援

○放課後はどのように過ごしていますか

(複数回答)

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校
放課後デイサービス利用	5人	30人	25人
自宅で	3人	15人	8人
学童	8人	10人	3人
塾などお稽古事	0人	0人	0人
その他	0人	3人	1人

※「その他」事例

特別支援学級：公園など外遊び、祖父母宅

特別支援学校：通院

その他

【1】PTAの役員などはどうされていますか

□自由記述

通常学級

分類	記述内容
就任済み	<ul style="list-style-type: none">・ しています。・ きょうだいで既にやった
就任予定	<ul style="list-style-type: none">・ ポイント制で必ずやらなくてはいけないので、来年度の委員に立候補した。他の学年の保護者と知り合える良い機会だと捉えたい。
将来就任	<ul style="list-style-type: none">・ できるだけ協力する。・ クラスの皆と同じです・ 申し込んだが落ちた。学童では役員をしている。
未就任	<ul style="list-style-type: none">・ していない・ してない。・ 特にまだ何もしていない。・ していません・ していません。

特別支援学級

分類	記述内容
就任済み	<ul style="list-style-type: none">・ 卒業実行委員会・ 支援級全体で2名出て、連絡係として会議に出る形ですが3年間コロナだったので連絡係選出のみでした。・ 他の子と変わらず行なっている。・ PTA 副会長をしている。来年度もすることが決まっている。・ PTA はボランティア制度のため役員はしていませんが、登下校時の旗当番はしています。・ 1人1役的な活動を普通に。
就任予定	<ul style="list-style-type: none">・ 係に入れてもらうようにしている。どこまで希望が叶うかはわからない・ 支援学級のクラス1～6年全体で、クラス代表と区立小学校特別支援学級連絡協議会(保護者による任意団体)の委員を、1人につき6年間で2回ほどやる形。交流学級含めた学校PTAは、希望者は委員に立候補。以前は支援学級も交流学級の方でも、学校PTA役員に参加(暗黙の義務)でしたが、本部役員になった支援学級保護者の働きかけで、近年このような体制になりました。”
将来就任	<ul style="list-style-type: none">・ 通常級の子と同じ扱い・ 今後やるつもりで検討中・ 立候補したが外れた・ まだしていません

	<ul style="list-style-type: none"> ・小5です ・支援級の場合6年間の間に支援級の役員を1回やるように決まっている為、通常のPTAは免除されています。 ・まだしたことはありません ・学級委員までは立候補はしているが当たらない。 ・3年に1回まわってくるとのこと。R4年度、R5年度はない。回ってきたらやるつもり。 ・下の子供が小さいので今は役員にはつきませんが通常級の子供達と（親も）支援級の子供たちの交流が持てるようにいずれPTAを引き受けようと思っている。（通常級の親子さん達がそれを望んでいるので） ・一年生なので…一人目でしたし右も左もわからないので一年目は立候補しませんでした。二年目も私の実家が大変なこともあり立候補していません。 ・保育園時代は未満児の時に役員、3歳児・年中児では副会長をし、2年生の今年は上の子（4年生）で学級部長をしているのでしていません。 ・まだしていないが、在籍中に1回しなければいけないと聞いている。 ・今年度（1年時）は特に何もしていない。次年度以降あるかもしれない。 ・今年度は学校の方針として上の姉弟（姉6年生）の学年で役員をするため対象ではありませんでした。PTAの役員選出としては特別支援学級児は通常学級の一員として見られます。特別支援学級だからとの免除制度なし。私は通常級の親御さん達と関わりたいのでPTA役員に来年度は立候補する予定です。
就任免除	<ul style="list-style-type: none"> ・免除されています ・特別支援学級は免除されています。2023年度からは、PTA全体がボランティア制へ移行するので、今後も役員はしないと思います。” ・まだ1年生の為行っていない。特別支援学級はPTA活動の役員は回ってこないようです。
未就任	<ul style="list-style-type: none"> ・していない ・していない ・していない
未確認	<ul style="list-style-type: none"> ・他の保護者と同様

特別支援学校

分類	記述内容
就任済み	<ul style="list-style-type: none"> ・支援学校なので、中学部までの9年間で1人2.3回はやることになるそうで、今年度立候補させてやらせてもらった ・参加できるときは参加している ・在籍しているが、仕事で参加できない事もあり ・今年度引き受けたが、特に活動がなかった（コロナの為） ・全員何かしらの係になる ・研修係として勉強会に参加した。 ・1年生で希望してやりました。

	・積極的に参加しています。
就任予定	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度役員します ・今年役員をします ・2年生で役員をすることが決まっている
将来就任	<ul style="list-style-type: none"> ・希望以外は順番で回ってくる様子 ・もう少し大きくなったらやるつもりです。 ・立候補制ですが、いつかは皆しなければならないようです。
未就任	<ul style="list-style-type: none"> ・していません。 ・しておりません。 ・していない ・現在はやっていません。副学籍の小学校では詳細が把握できないのでお断りしています。
未確認	・1学年で1人選出

【2】2年生で在籍する学級、学校に変更はありますか

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計
変更なし	12人	34人	23人	69人
変更あり	0人	1人	3人	4人
計	12人	35人	26人	73人

通常学級

変更有無	具体的な記述
変更なし	<ul style="list-style-type: none"> ・国語や算数など少しずつ支援級の方で受けるか考えているところ。まだ皆の中でまわりを見て成長してほしい。 ・本人は今の学校生活にとっても満足しているようで「2年生になるの！！」と楽しみにしているので変更する予定はありません。 ・いろいろ考えましたが、変更する時間もなかったので2年生も通常級にしました。中学高校のことも考えてもしかしたら支援級に変更しようか悩んでいます。 ・今の環境に満足している。

特別支援学級

変更有無	具体的な記述
変更なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の環境が本当によく周りにいる先生や、生徒たちが助けてくれたりと満足しています。一番は本人のやる気、学校に行く気持ちがあるので。 ・支援級のアットホームな雰囲気の中でのびのび過ごして欲しいから。他学年のクラスメイトからの刺激もあり、一年でとても成長したと感じたから。 ・今の環境に満足しているから ・今のところ言われていません。 ・教室に入りづらい事もあるが、友だちと交流したり、にこやかに過ご

	<p>していることが多いと聞いている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人に合わせた学習ができ、友だちとも交流することで学ぶことができるから。 ・支援学校に見学に行ったとき、授業内容が生活面を主にしていて娘には少し物足りないと感じたため（国語、算数としての授業がなかった）。また現在お友達関係が良好なため。 ・できる事が増えてきている。
変更あり	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は娘を含め1年生2人・3年生3人の5人のクラスでしたが、今年度は6年生1人、5年生1人、4年生3人、2年生3人、1年生2人、計10人になるので2クラスになりました。娘は今までの5人のメンバーに1人加わるクラスなのでほとんど変化はなさそうです。

特別支援学校

変更有無	具体的な記述
変更なし	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き同じ学校でお世話になりたいと考えています。
変更あり	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生から、1つ上の学年と合同のクラスに変更予定と聞いているので。 ・父の転職に伴う引越しのため ・2クラス5名を1クラス10名へ

【3】 その他、就学に関するアドバイスがありましたらお願いします

□自由記述

通常学級

- ・普通級の環境は校長の方針や担任次第だと思うので、入ってみないとわかりません。思い切ってトライしてみたい学校に入学してみるのが良いと思います。
- ・地域によって、全然違うんだな…という印象。私の住む地域は「ここが良いですよ」とか決められることなく親が選べた。周りの刺激をもらって成長してほしかった（それが可能な子だと思った）ので、通常学級に決めた。でも本当に地域によって学校や役所の対応は違うので可能であれば住んでいる地域でアドバイスがもらえるのがベストと思う。
- ・就学相談よりも、学校との面談が大変でした。トータルで3回、入学前に面談がありました。はっきりとした受け入れ拒否は無かったですが、特別支援学校を勧められたりして、入学したいという意志を貫き通すには心のタフさが必要な気がします。そのためにも、身近な先輩パパママ（同じように通常級に通うダウン症のある子を持つ親御さん）を見つけ、相談に乗ってもらおうと良いと思います。
- ・通常級に入学したいなら学務課で就学相談しないで直接学校に相談した方が良いです。学務課を通すととてもめんどくさいですし時間がかかります。あとは校長次第なところもあります。うちは介助員は付けない、毎日親が付き添うことを約束させられました。支援学校適の子に介助員は付けられないそうですが、お友達で通常級に入学した子は1学期から介助員が付いたようです。差別です。なので学校と直接話をした方が良いと思います。
- ・選択肢は子ども本人の権利としてあるので、自由に選択することをお勧めしたいです。TIP、全国連など、手伝ってくれる人たちがいます。
- ・学校では支援員や支援員が不在時は専科の先生が入るなどして学校全体で支援してもらっている。また健常の子たちと過ごすことで世の中のことを教わり学ぶが、一方で健常の子たちも我が子から教わっていることもある。通常級ならではの良さもたくさんあるの

で支援校や支援級をいろいろ見学して少しでもいいなと思ったら選択肢の一つとして考えてもらえたらと思います。

特別支援学級

- とにかく見学に行くこと、不安なことは何でも相談すること。在住する県はとにかく支援校の枠が少なく、よほど強く要望しないと入学できません。我が家は支援級希望だったので問題ありませんでしたが…。あと、どれほど事前に状況を調べても、実際入学する学年は全然状況が違っても。上級生は支援級（知的）は1学年1人くらいだったのに、今年は1年生だけで5人。知的レベルもバラバラで、担任の先生は大変そうでした。よく対応してくれたので不満はありませんが…。支援級の在籍人数はどこも本当に増えているので、今後どうなっていくのか、少々不安も感じながら見守っています。
- 就学相談は早めにしておく。児童発達支援などの連携期間にも第三者からみて支援が必要なことなど吸い上げて学校へ伝えておくが良い。
- 親御さんが子どもの事を思い悩んで出した答えに間違いはないと思います。自信を持って。
- 学校に直接お願いしてもダメなら、教育委員会へお願いすると通る事もある。また、市会議員からの口添えなども有効。個人で声をあげてもかき消される事もあるが、周りの援護があるとまた違った答えが出てくる。
- 通える範囲の学校（特別支援学級）を何校か見学させてもらうことをおすすめします。結局「人」なので校長や主任の人柄、学校の雰囲気など。子供の笑顔のため良い学校に出会えることをお祈りしております。
- 年中、年長と2回、特別支援学級の見学に行き、先生によってクラスの雰囲気がだいぶ違うことを感じました。放課後等デイサービスは開所時間が短いので、学童クラブと併用しています。
- 学校ごとに環境であったり、対応が違ったり、先生でも全く違うので、先生とのコミュニケーションをなるべくとるようにした方が良いと思います。
- 娘は年中の時に、オムツはずしてできていましたが、オムツはずすことは最低限と言われました。学校の雰囲気を知るために見学（可能なら体験）することをおすすめします。読み聞かせをたくさんするように言われます。
- 支援級を担当する先生の支援教育の場を設けるべきだと思う。その子の特性を理解した上での関わりが必要で、そのためには定期的な勉強会などが必要です。私たちの学校では、保護者からそのような場を設けさせていただきました。（学校に講師の先生をお呼びするなど）
- 年中年長で見学行く。不安になりすぎず親が自分の心身を整えて在ること！
- 就学についてはダウン症のお子さんを持つご両親にとっては最初の主張が通らない（歩み寄ってもらえない）話し合いかと思います。傷つくこともあると思います。どうぞ覚悟して臨むとともに親としてどうしたいのかきちんと伝え、お子さんにとって最適な学校に進学できますようがんばって欲しいと思います。
- 就学相談では、親として、家族として目標をしっかりと待ち、そのために考えている保護者が行うことも具体的に伝えて、共に子どもを取り巻く支援者として協働していけるのかベストだと思います。教育委員会は基準に当てはめて結論を出すのが仕事なので、対応する方によって時に冷たいと感じる対応もあります。判定での結果は客観的意見として受け止め、その上で保護者の思いを理解していただけるような、アサーティブコミュニケーションを意識することが大切と感じました。
- 可能な限り沢山見学に行かれると良いと思います。学校に関しては、地域により様々なので周囲や先輩の情報は参考程度でご自身の目で確かめてみるとたくさん発見があると思います。
- ランドセルが重いと背負えないので置き勉強させてもらっています（本人の教科書は学校に置き、姉の古い教科書を家で使用している）。年の近い兄妹の教科書は捨てずにとっておくと言っています。
- フォローしてほしい事は入学までに伝える。

- 学校により（支援級の担任により）支援の質がバラバラなので事前に様子を見たり、支援級担任や管理職と面談を重ねておく方がスムーズかもしれません。学校側がどこまで親の望む支援ができるのか相互の「できること」「してほしいこと」のすり合わせと（したくないですが）妥協点を見つける方がいいのかなと思いました。
- まず私が声を大にして言いたい事の1番は本人のレベルに合った学校学級を選ばれることだと思います。親の見栄や希望で子よりも高いレベルを選ばれる方を何人も見てきていますが後悔の話をよく聞きます。その子に合った学校学級を選んであげられる事によって大きくなった時に得られた事も沢山大きく成長しています。高いレベルを選んでしまうと吸収することが難しく得られることも少なくなってしまいます。また東京や神奈川などでも考え方は大きな違いもあり、特別支援学校というあまり良いイメージを持たれない方がほとんどですが横浜では特別支援学校の方が人気で、また学校学級全てにおいて一つ一つの学校の仕組みや支援のしかたなどに違いがある事をほとんどの方が知らない状況にあります。私は就学相談で相談をしましたが、皆さん情報がなく自分で直接情報収集するしかありませんでした。就学相談は相談を受けて頂く側なので情報を色々知っておいてむしろ提供していただきたく思いました。「その情報なら〇〇に聞くと良いですよ」など窓口の役割などでも。とにかく就学の時期は皆さん情報＝知識のなさに不安を感じるもので精神的にも重くのしかかってくる1年なので就学相談員の方たちでもっと支えていただけたらと思います。この時期1番頼れる場所なので。よろしく願います。
- 学校によって全然違うし先生によっても違うし…というところがすごくあります。とにかく、学校には何度も見学に行くのがいいと思います。私は知的が3クラスあるので全部のクラスで体験したいですとお願いして行きました。それに加えて、校長先生とコーディネーターの先生とも話しました。少しでも疑問に思うところがあるならば全部（直接）聞いた方がいいと思います。
- 就学相談は年中の秋に夫婦で行きました。今までの療育・リハビリのこと、現時点で身辺自立がどこまで出来ているか、入学までにどこまで出来るように取り組んでいくかを話しました。例→排便後にはきちんと自分で処理できるように、など。年長の夏（8月）に最後の就学相談の時には主治医の情報提供書（発達検査の結果を学校などにあてて、どんな風に関わったらこの子が伸びていくか、どんな支援が必要かなどをまとめたもの）、リハビリの先生からも上記のような情報提供書を持参し話をしました。その時に入学したら《給食のお盆は1人だと持てないので支援してほしい》《移動教室などは周りが一斉に行ってしまうとどこへ行ったら良いか分からなくなるから支援してほしい》《トイレにはステップを置かせて》《2時間か3時間おきにトイレに行くように誘導の声掛けをして》《体操服の着替えは裏返った服は直せないの支援してほしい》など、どのような時に支援が必要かを話した。支援員さんを娘1人に付けることは出来ないと言われましたが入学したら娘のクラスに専属の支援員が配置されていました。学校へは年中時に一度、年長時には2度、校長先生と話をしに行き娘がどんな時に支援をして欲しいか話をしたり支援学級の見学をさせてもらいました。漠然と支援員さんを付けてくださいと希望するよりも現時点での子供の様子を話し、どんな時に支援が必要かを話すことで先生方も支援の方向性を考えやすいのかと思いました。
- 保護者が安心して通わせられる所が、子どもにとっても一番良い環境だと思います。
- 希望する学校に面談に行ったり本人を連れて行ったりしていた方が良い。うちの場合、学校の洋式トイレは高すぎて一人で利用できなかったの、下に台をつけてもらって、脱いだものを入れるかごを用意してもらうなど環境を整えてもらうことができた。
- 年長の夏休みに教育相談がありました。1日体験入学があるわけもなく子供にどっちに行きたいか聞いても返答もなく保護者が最終的に決めなければなりません。決めた結果が本当に良いのかしばらく悩みました。アドバイスとして…「子供と携わってくれている、いろいろな方々に自分の思いを伝えて相談してください」。相手に話すことにより、あれっ！？私は子供にはこうしてほしいこうなって欲しいと思っているんだ！と気付く時があります。また相談することにより、個人的な意見だけど〇〇くんは△△に行かせてみたら、とその方の考えを（理由付で）教えて下さった方もいました。
- 地域の支援学級でも学校によってかなりの差があるようで、就学の3年くらい前から教育委員会に電話で聞いたり、宮城支部の就学相談会に参加したり小学校のHPなどで調べて、行きたい小学校の学区に引っ越して就学しました。情報収集に尽きると思います。

支援学級ご希望の方に、行政の発達相談センター出される意見書は判定には影響あるようですが、何年かに1回会う人がほんの1時間程度の検査で出すもので自分の子の本当の姿を伝えてくれるとは思えず、意にそぐわない内容だったので、全く参考にしない欲しいと教育委員会に言いました。センターでは「オムツだと支援学校」とか、地域の学校の実情も知らない人が勝手なことを言いますので気にすることはないと思います。

- (うちの)子の場合、就学前は1歳から保育所で過ごしてきたためか、集団生活に慣れていたことは大きかったと思います。集団生活に慣れているという長所があったので地域の支援学級に決めましたが、他の児童と比べるとやはり発達がゆっくりで、これがベストかどうか今でも分かりません。ストレスのためか1年生の2学期はお腹を下すことも多かったです。卒業まで支援学級のままで行くことは決めていません。難しいですが、お子さんの特性をよく見てご判断されると良いと思います。

特別支援学校

- よくお子様の特性や体力面、環境、距離などをご考慮の上、またたくさん見学をされたり、いろんな方のお話お伺いできると良いかと思えます。
- わが家の場合、本人が一番無理なく楽しく通える学校はどこかを軸に考えて決めました。それが結果として、本人のやる気を発揮させ、大きな成長へと繋がったと思うので良かったかなと思っています。
- 子ども本人が毎日楽しく通える所をと思い、選びました
- 学校選びはかなり悩んだが、本人のレベルに合った学校を選ぶのが最善と思う。親の意向、都合もあると思うが、本人よりもレベルの高い環境で日々活動や授業への理解が追いつかないと、本人が苦しんだり楽しくないと思う。健常児との交流の場は親が作っていくしかない。(それがなかなか難しい。我が家の場合は学童で刺激を受けてきている)
- コロナで年中から年長の大事な時に見学全然できなくなってしまった。年少だとまだまだ我が子がどのように成長するかわからないことも多いが、とりあえず見ておくことは後の負担軽減のためにも大切だと思った。文化祭や展示会など一般の人が行ける機会があれば、それも参考になる。それと、転居先の就学事情を知って、自治体によってここまで違うのかと驚いた。遠方だとなかなか情報が手に入りづらいが、ホームページに就学相談の資料を掲載している自治体も多い。また電話での問い合わせも御応じてくれる。
- 学校によって、支援の手厚さや考え方も様々です。実際に通っているお子さんが居る親御さんから話を聞いてみたり、学校に問い合わせしてみたり、情報収集はとても大切だと感じました。実際に見学や体験ができるなら子供を連れて積極的に参加して、来年春から子供がこの学校に通っている姿をイメージして見て下さい。納得できない事があれば一人で抱え込まず、JDSのメンバーや、いろんな人に話して悩みもシェアしてください。きっと同じような体験や思いをした仲間が見つかると思います。
- 我が子は保育園時代に人前で発言するのが得意ではありませんでした(言葉も不明瞭なところあり)でも、支援校で自信がついたのか、お当番などで前に出て発言できるようになりました。お兄ちゃんと同じ普通級に通うことも考えましたが、今思えば、支援校がわが子に合った環境だったと思います。親の希望もいろいろありますが、子どもがストレスなくのびのびと過ごせるところが1番良いような気がしています。
- 早めの見学をおすすめします。できれば年少くらいから先輩保護者の体験談をたくさん聞いていいかも
- 支援学校高等部を卒業しても高卒資格はありません。子の能力を幼い時に決めつけてしまうのも問題ですが「自立に向け7歳から訓練を受けている」と考えれば12年の支援学校は子の人生において充実した学び経験の場です。卒業後自信をもって自立した生活仕事をしていて欲しい、そう願いながら送り出しています。

【4】合併症のある方はお聞かせください

[複数回答設問]

	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	計	構成比
心臓	1人	7人	4人	12人	16%
聴覚	0人	5人	8人	13人	18%
視覚	5人	13人	10人	28人	38%
その他合併症※	5人	4人	1人	10人	14%
合併症なし	4人	7人	7人	18人	25%
回答者	12人	35人	26人	73人	100%

※その他合併症：甲状腺機能6名、外反扁平足2名等。

以上